

## 投 稿 規 程

1975年11月制定、1978年6月改定、1978年11月改定、1983年11月改定、1985年12月改定、  
1990年7月改定、1992年6月改定、1996年9月改定、1997年6月改定、1998年6月改定、  
1999年6月改定、2001年6月改定、2002年7月改定、2022年7月改定

1. 投稿は松本歯科大学学会員に限り、次の分類で受け付ける。  
 i) 総説、ii) ミニレビュー、iii) 原著論文、  
 iv) 短報、v) 臨床報告、vi) その他
2. 投稿は以前に他の雑誌に発表したものと併記する。総説、ミニレビューは原則として編集幹事会より依頼するものとする。ミニレビューおよび短報は、それぞれ投稿規程9、10に従う。
3. 投稿原稿はMicrosoft Wordで作成し、電子メールによる添付ファイルでの投稿とする(15. 原稿ファイルの基本形式および16. 原稿の構成を参照)。原稿は和文の場合、専門用語以外は当用漢字・新かなづかいとし、外国人名・地名は原語とする。和文による表題、著者名、所属および内容抄録(800字以内)を付ける。英語を母国語としない著者の英文原稿は、投稿に先だって英文校正を受けたものを受け付ける。
4. 単位記号は下記の例により、数字はアラビア数字とする。  
 $\text{mm}$ ,  $\mu\text{m}$ , 1, g, sec (s), ……
5. 総説、ミニレビュー、原著論文、短報、臨床報告、その他にはいずれも英文による表題、著者名、所属および抄録を付ける。英文抄録は冒頭にSummaryと記す。英文原稿については和文抄録を付ける。
6. キーワード(論文内容を示す重要な用語)およびランニングタイトル(欄外見出し)を記載する。キーワードは和文原稿の場合は日本語を原則とし、数は和・欧いずれも3～5語とする。ランニングタイトルは和文25文字以内、欧文50文字以内とする。
7. 文献は、著者名(姓、ラストネーム)のアルファベット順または引用順に一連番号を付して、次の如き体裁で記載する。
  - i) 雑誌の場合、著者名(発行年)表題、雑誌名巻(号)は通巻ページのない場合のみ記載):最初のページ～最後のページ。  
 なお、著者が複数の場合もすべて記載し、欧文雑誌の略名にピリオッドは用いない。なお、雑誌の略名はその雑誌の指定する略名を使用するが、それがない場合には下記による。  
 和雑誌“日本自然科学雑誌総覧”1969  
 洋雑誌“World Medical Periodicals”3rd ed. 1961,  
     Supplement 1968  
     (例1) Norkus RG, White NS, Thomas RF and Schulhof J (1975) Application of a lateral compression clamp in the management of mandibular fractures. *Oral Surg* **39**: 2-13.  
     (例2) Kawasaki K and Featherstone JDB (1997) Effect of collagenase on root demineralization. *J Dent Res* **76**: 588-95.
  - ii) 単行本の場合、著者名(発行年)書名、版数、引用したページまたは最初のページ～最後のページ、発行所名、発行都市名。  
 (例) 花沢 鼎(1932)歯科病理学、5版、382-96、歯科学報社、東京。
  - iii) 訳本の場合、著者名(訳者1名、他、発行年):書名、引用したページまたは最初のページ～最後のページ、発行所名、発行都市名。  
 (例) Gruber TM(中後忠男、他訳、1976):グレーバー歯科矯正学 理論と実際(上)、365-71、医歯薬出版、東京。
8. 本文中の著者名等(2名までは姓を書き、それより多い場合には最初の著者の姓のみとし、その後に、ら、または、et al.を付ける)の肩に文献番号を付ける。
9. ミニレビューは研究における国際的な趨勢を簡潔にまとめ、刷り上がり5ページ以内(英文抄録、引用文献を含め約9,000字)とし、表題、著者名、所属などをすべて含むものとする。その他は原著論文に準ずる。
10. 短報は、基礎研究または臨床研究などで、その研究領域における新しい知見またはトピックな内容とし、症例報告は含めない。論文は、刷り上がり3ページ以内(図表・写真とその説明、英文抄録、引用文献を含め約5,000字、なお、写真や表は1枚で400字と換算のこと)とし、表題、著者名、所属などをすべて含むものとする。その他は原著論文に準ずる。
11. 掲載順序は、総説、ミニレビュー、原著論文、短報、臨床報告、その他とし、それらの中では、原稿の受付順を原則とする。
12. 掲載料は論文1編につき、刷り上り10ページまでを無料とし、これを超過した場合には超過料を申し受ける。白黒写真は6点までを無料とし、それ以上の分についてはその実費の半額を申し受ける。カラー写真およびトレース費は半額を著者負担とする。
13. 著者校正は原則として2校までとするが、郵送による場合には初校のみとする。校正中に字句をいちじるしく変更、追加、削除することを厳禁する。
14. 別刷は総説にかぎり50部を無料とするが、それ以外は著者の負担とする。所要部数は原稿の第1ページに明記すること。
15. 原稿ファイルの基本形式。
  - ・原稿サイズ:A4版、縦向き。
  - ・余白:上下30mm、左右20mm。
  - ・ヘッダ:中央揃えで「松本歯学」と記載。
  - ・フッタ:右揃えで「頁番号／全頁数」を記載。
  - ・行番号:本文(Main Text)のみ、左余白部に行番号を記載(頁ごとではなく通し番号)。
  - ・行間:1行(ダブルスペースは不要)。
  - ・インデント:段落の初めは、日本語原稿では全角1文字分の字下げ、英文原稿では半角英数5文字分。
  - ・本文フォント:本文の全角日本語文字はMS明朝などの明朝体、半角英数文字はTimes New Roman。
  - ・図表フォント:図表と説明文の全角日本語文字はゴシック体、半角英数文字はArialやHelvetica。
  - ・文字サイズ:本文(Main Text)では12ポイント、図表の文字サイズは印刷時を想定して見やすさを重視して任意に設定。
  - ・文字色:黒色。ただし、修正稿における修正箇所は青字や赤字で強調。
16. 原稿の構成
 

原稿はひとつのWordファイル内に下記の6項目が含むものとする。「改ページ」を用いてそれぞれ新しい頁(ページ)で作成すること(図表はひとつにつき1頁)。

  - [1] 論文表題、著者情報、キーワードおよびランニングタイトル(Title, Author Information, Keywords and Running Title)
  - [2] 抄録(Summary)
  - [3] 本文(Main Text)
  - [4] 参考文献(Reference)
  - [5] 図と図の説明(Figure and Figure Legend)
  - [6] 表(Table)
17. 原稿の到着日を、原稿受付日とする。
18. 本誌掲載の著作物の編集著作権は本学会に帰属するものとする。ただし論文の内容については著者が責任を負う。
19. 原稿の送付および問合せ先  
 松本歯学編集幹事 E-mail: info\_jomdus@mdu.ac.jp